

宇都宮商業會議所月報 第百拾號

稟告

一 商工業の進歩發達を促すべき事實又は法律命令
其他商業の發達を阻害する事情あらは速に其狀
況并に之に對する御意見等御一報あらんことを
望む

一 商工業に關し獎勵すべき習慣若くは矯正すべき
弊習等御認めの場合には細大となく御報知あらん
ことを望む

一 地區内商工業組合の組織に關しては當所は出來
得る限り斡旋盡力すへし若し之れか組織の必要
を認められたる場合は申出られたし

一 地區内商工業組合にして總會又は役員會々場
に充つる爲め會議室の使用を望まるゝ向に對して
は無料にて貸與し且つ當所の事務に支障を來さ
ざる限り其事務をも補助すへし

一 地區内商工業者各位にして商工業に關する事項
に付諸官廳其他に對し本會議所の照會又は紹介
を得んことを望まるゝ場合は遠慮なく申出られ
たし

一 本會議所は商工業者各位の時々來所高見を演述
調査研究の資料を供給せらるゝを切望す

一 本會議所には官報、通商彙纂、商標公報、特許
公報、實用新案公報、山林公報、各地商業會議
所報告書其他商工業に關する各種統計及諸般の
有益なる圖書備付あり商工業者各位の隨時來所
閱覽あらんことを望む

宇都宮商業會議所

一、資本金 壹千万圓 (全額拂込済)

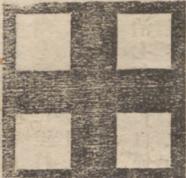
宇都宮市大工町四十八番地



合名 安田銀行
會社 宇都宮支店
(電話百五十番)

一、本店所在地 日本橋區小舟町三丁目九番地
一、支店出張所 貳拾壹ヶ所
一、各地送金 無手数料

商標登録



銘酒 明保野
宇都宮市榮瀬町
新部 幸吉
電話 三六四番

明保野は學理と實驗とに依り釀造したる酒質醇良
滋養豊富香味絶佳なる無比の一品にして夙に好酒
家諸賢の好評を博し販路日に月に擴張の盛況に在
るは深く愛顧諸君に謹謝する所なり將來益々酒質
の改良に努むへし希くは倍舊の御引立あらんこと
敬白

資本金貳百萬圓



株式 下野銀行
會社

東京支店 東京市日本橋區横山町二丁目
電話 二一三番
日光支店 下野國日光町 電話 二〇番
下野國宇都宮市大工町
眞岡支店 下野國眞岡町 電話 一〇番
新石町支店 宇都宮市新石町 電話 四三〇番



株式 宇都宮銀行
會社

材木町支店 宇都宮市材木町 電話 四五〇番
足尾支店 下野國足尾町 電話 一二二番

足尾出張所 下野國足尾町 電話 八番

●諸貸附、割引、爲替、荷爲替、代金取立
●總テ精々御便利ニ取扱可申候

毎月定額部金參錢
郵政特部金五圓
印刷人 荒川 義典
編輯人 秋山 錦次郎
發行所 宇都宮市大工町一丁目
宇都宮商業會議所
電話 二五五
印刷所 宇都宮一丁目七番地
電話 三六五

明治の聖代に君臨し玉ひ盛徳鴻業下萬民の限りなき崇敬を受けさせ給へる允文允武なる先帝陛下の崩御に對し度んで哀悼の誠意を表し併せて萬世一系の帝祥を踐み玉へる今上天皇陛下の御壽福と皇基の無窮とを祈り奉る

明治の大業

明治天皇御治世四十五年此の間に於ける我國運の發展富力の増進は眞に顯著なるものあり今にして明治初年を思へば隔世の感を禁する能はず新日本帝國建設の基礎は全く明治天皇の御代に成れりと謂ふも可なり今永久に行きて歸らざる『明治』を紀念せんが爲め御在位中に於ける國力進歩の著しきもの二三を掲げん

一 領土及人口 領土は明治初年二萬四千六百四十方里なりしも全五年に琉球を加へて二萬七千八百方里の結果臺灣を加へて約二萬六千二百方里に擴張され三十七八年日露の役後樺太島を回復し二千二百餘方里を加へ最近四十三年秋朝鮮の一万四千方里を併合してこゝに帝國の領土は四萬三千三百四十六方里となり明治初年に比し約二倍に膨脹しぬ人口亦之に準して大増加を告げ明治五年に三

千三百餘万人なりしも二十年には約四千万に増し三十年には約四千万、四十年には約四千万八百万、四十四年末には新附の朝鮮人を併せ六千二百七十五万人に増殖し明治初年の倍數となれり

二 財政 國運の發展と共に帝國財政の膨脹亦頗る目ざましきものあり明治初年には歳入歳出各三千餘萬圓なりしもの二十年には歳入八千八百餘萬圓歳出七千九百四十萬圓となり四十年には日露大戰役の後を更けて歳入八億五千七百餘萬圓歳出六億二千餘萬圓の巨額に達し明治初年に比し約二十倍の激増を示すに至れり四十五年の豫算は歳入五億七千二百萬圓歳出五億七千五百萬圓にして初年に比し約十三倍の増加なり國債額又之に準して増加し明治七年末には僅かに四千六百萬圓ありしもの四十五年末には二十五億五千五百萬圓に激増するに至れり

三 軍備 陸軍は明治元年東京外五ヶ所に六箇鎮臺を置き更に之を四鎮團に減じ六年又六軍管とし東京、仙臺、名古屋、大阪、廣島に各師團を置き日清戦後は十二師團に擴張し更に日露戦役後十八師團を設くるに至れり海軍は明治五年頃は僅かに龍驤艦と稱するコルベット型の木骨鐵皮千噸にも足らぬ小艦外十六隻にして總噸數六千噸に過ぎざりしが明治二十年には三十二隻三萬二千五百八十八噸に四十七隻一萬五千六百餘噸となり四十年に實に百二十四隻四十九萬六千六百餘噸となり從つて陸海軍費の膨脹又著しく明治元年に兩者合計百三萬八千圓なりしもの四十三年には一億五千六百二十四萬二千餘圓となれり

四 教育 明治年間上下最も力を注げるは教育事業なり明治四十二年の事實を明治六年に比するに各種學校數は約三倍し教員數も同様學校生徒數は約五倍せり即ち明治六年には學校數一萬二千五百九十七教員數三萬七千七百八人學校生徒數百三十二萬

六千九百人なりしもの明治二十年には學校數二萬七千五百教員數六萬三千二百三十四人學校生徒數六百六十二萬七千四百人となり四十二年には學校數三萬四千三百七十六教員數十六萬八千七百八十八人生徒數六百六十二萬七千四百人となり更に學齡兒童の就學歩合は明治六年には學齡兒童百に付就學兒童二十八人に過ぎざりしに二十年には四十四人六に上り四十二年には九十七人五に達せり如何に教育の全國に普及せるかを見るべきなり

五 外國貿易 明治元年正月十日 陛下の嘆發し給へし開交の詔は我國をして世界一等國の列に入らしむるの萌芽にしてあらゆる文化は之に胚胎せることなるが就中外國貿易の發展に至つては最も顯著なるものあり明治元年には輸出總額二千六百二十四萬六千圓なりしに今年には二倍し全三十二年には十七倍を超え日露戦後の四十年には九億六千八百八十六萬九千圓に上り三十六倍の多きに達し全四十四年には戦後に匹敵する九億六千六百二十三萬九千圓となり同じく初年に比し三十六倍の多きを示せり

六 運輸交通 鐵道は明治五年に初めて京濱間十八哩の間に所謂陸蒸氣の走行を見たるが二十年には五百九十五哩となり四十三年には朝鮮、臺灣、滿洲等を加へて實に六千二百九十三哩に達し僅々四十年間に甚だ驚くべき進歩を示せり

汽船は明治三年に三十五隻一萬五千噸なりしもの今や千二百二十五隻總噸數約百五十萬噸にして偉大の發展をなす

郵便は明治五年の受付數二百五十一萬通全二十年の受付數一億千六百六十五萬五千通より四十三年の十五億四千五百二十二萬三千通に激増し電信は明治五年八萬一千通なりしもの四十三年には二千九百七十九萬通となる

奢侈とは何ぞ

法學博士 添田 壽一 君

俗諺に曰く「奢る者久しからず」と東西古今の歴史は明かにこれが實例を提供すれども尚ほ世人これを悟らざるが如きは何故ぞやこれ奢侈の性質弊害を熟察せず制度も亦これを矯正するに緩慢なる爲めに外ならず今日の世界列國及人種との競争は主として經濟上に存し勝敗は經濟力の強弱に由つて然るに邦人の最も缺乏せる所は經濟力に在り經濟上の缺點は奢侈に流れ活動力に乏しきより生ず奢侈の抑制に力を盡すは帝國の現在將來にとりて一大急務なりと言つべし然らば奢侈とは何ぞ曰く人類の生存開進其他合理的幸福増進に裨益するところなく却つて有害なる消費を云ふ勿論人々の社會的境遇の差違により又は國々の一般生計程度の高低氣候の寒暖の差違に依り甲の奢侈品とするところも乙に取りては必需品なる場合ありとするも如何なる場合と雖も人類の生存開進生存の幸福に裨益なき限り皆これ奢侈品なりと言ふことを得べし例へば本邦の現狀に就きて見んに綿布搥醬油の如きは富者貧者を問はず日常の必需品なりと雖も絹布酒煙草の如きは富者と雖も奢侈品たるを免れず

奢侈の起因

奢侈の起因は人心の傾向に在り即ち虚誇修飾肉慾好變の如き人性の弱點に外ならず尚ほ是等主因の發動を助長すべき副因あり例へば制度の過失若くは戰勝金餘坑の發見投機心の勃興其他社會の風潮の如きものは是れなり修飾の如きはこれ文明の結果にあらずして野蠻人が滿身刺繍を施し又は婦女子の盛裝紅粉を以て其醜を蔽はんとする如き事實に於て最も發達したる弊習たるを見る虚飾を美術と誤る勿れ美術の妙味は天真爛漫たるに存し虚飾

奢侈の結果

奢侈の結果はこれを各人の上に就きていへば

- (一) 人をして柔弱無氣力不健康ならしめ
- (二) 道徳輕浮不徳ならしめ
- (三) 負債に陥り投機に流れしめ
- (四) 投機のため産を破り身を傷めしむ

次に國家の上に就いていへば

- (一) 不生産的消費を増加し
- (二) 貯蓄乏しく資本生産力の減少を醸し
- (三) 物價の騰貴及輸入の超過を來し
- (四) 租税加重及び外國起債の必要を生じ
- (五) 國家の元氣を沮喪せしめ
- (六) 貧富階級の外観を顯著ならしむ

邦人の奢侈の現狀

今日我國の奢侈の行はるゝ事最も熾に殊に衣服に於いて甚だしく各人は美服を飾らんが爲め負債を起し國家は絹布の消費に苦しむ然るに絹布は歐米諸國に於ては一番の貴重品として手巾夜會禮服などに用ゐらるゝのみにして邦人の如く上衣下衣共に殆んど絹布ならざるなきが如きは富者と雖も敢てなさいる所なり故に同國內に於て費す所を節制し之を精製して外國に輸出せんに國家を益する事多大なるべし況んや製絲は本邦のみの獨占にあらずして支那伊太利佛蘭西等有力なる競争者あるに於てをや

奢侈の我國民精神上に及ぼしつゝある悪感化はいふも更なり單に經濟上よりいふも今日世上の問題たる資本缺乏の如きは生産力の幼稚貯蓄心の缺乏に淵源するや多言を要せざるべし貯蓄心の發達

奢侈の矯正策如何

奢侈の極力制止すべきはいふを須たす今試みにこれが方策を講せば

- (一) 各人自ら奢侈を慎むこと
- (二) 例へば町村の申合せ規約又は信用組合の如きに依り共同して之を戒むること
- (三) 社會も亦奢侈の弊風を卑下排斥すること
- (四) 國家は奢侈に向けて課税し之を禁制するの方針に向つて進むこと

以上四方策の内本邦の現狀に於て最も有効なるは第四課税の方針を奢侈禁制に置くことなり租税の原則として生産者の負擔を軽減して奢侈的消費に重課税を課するを得策とす然るに實際立法の趨勢稍之に反するものあるは余の常に痛嘆に堪へざる所なり民法法制俱に奢侈是れ事とせば國家の將來寔に憂ふべきにあらずや國法社會の風潮兩ながら頼りに足らずとせば責めては同感先覺の士に於て第一第二の方針に依り單獨又は共同して此一大時弊に向つて警戒を加ふることを切望す不幸若し此の事すらも望み難しとせば奢侈の爲めに各人國家の衰亡を座視するの外なからんのみ

クラウクリン曰く殘す事を知らなければ一生すり、木よみつて稼いで白銅一つ持たす死ぬ

善所か太れば志が弱る

Table of commodity prices for various goods like rice, oil, and other agricultural products, categorized by region and quality.

宇都宮物價

(四十五年五月中)

△印ハ下落

Table of commodity prices for items like sugar, oil, and various types of rice, with prices listed in yen and sen.

Table of commodity prices for various types of paper and other manufactured goods.

五大強國の軍事費

獨、佛、露、伊、埃五國の軍事費を調査するに三十年間に四億七千八百萬弗より十一億千七百萬弗の巨額となつてゐるが之れを積立て置けば百四拾三億四千萬弗となる又五箇國の三十年前の外國借款は約八十五億九千六百萬弗であつたが現今では百八十二億四千四百萬弗に達してゐる是等の借款は主として軍備に關するものである其公債利息は三十年前には三億四千五百六十六萬六千弗であつたが今現では六億六千六百六十六萬七千弗に達してゐる之を三十年間積立て置くと百二億四千七百萬弗となることは驚くべきではないか

農家の經濟狀態

全國平均田一反歩より得る農家(地主、小作農、地作農)の利得は幾何であらうか之に關する下岡農務局長の調査によれば次の如くである

Table showing interest rates and other financial data for farmers, categorized by region and type of land.

Table of trade data for the past 30 years, showing trends in imports and exports.

◎既往三十年間の貿易

大藏省の調査によれば、既往三十年間に於ける貿易の趨勢は左表の如くにして、輸入品中、食料品原料用製品、全製品の輸入率が逐年減少するに反し、原料品の輸入は漸次増加し、又、輸出品中、食料品原料品の輸出率は減少したるも、精製品の輸出が著しき増加を示したるは注目すべき現象なりと

Table of trade data for the past 30 years, showing trends in imports and exports.

◎海外出稼人の送金高

其筋の調査によれば、昨年中海外出稼人より送付される金高は左の如し

Table showing the amount of money sent by overseas workers, categorized by country and year.

名訓歌

つ、しめよはたるほなる煙草の火
心ゆるせば早鐘の聲
恐るべしぐちさ短氣の胸の火が
我を我手を、おしやきもて
恐るべし非がふりか、る困窮はは
日か非道の非がせむるあり
慎みを人の心の根さすれば
こころの花も、こころにやきへ

同業組合法改正案

現行同業組合法は去る明治三十三年の制定に係り時世の進運と共に不備の点を生じたるを以て農商務省に於ても之れが改正の必要を認め改正案に對する當業者の意見を徴する爲め改正事項并参考書添へ各府縣知事及全國各商業會議所に諮問せり

就任するを原則とする。現行法の通なるも別一項を設け「行政官廳は組合の申請あるときは役員の一部又は全部を選任することを得る」旨を規定せんとす。

第一、同業組合を左の二種に區別す。甲、命令を以て指定したる重要輸出品及重要物産に關する組合。乙、其他の物産に關する組合。

庶務

四、検査費に對し國庫は補助を爲すことあること。五、役員及検査員の懲戒規定を設くること。六、役員及検査員は濫職事犯に關し公務員と看做すこと。

重要事項

一、東京商業會議所ヨリ依頼ヲ受ケ埴田町原邦太郎へ爲替券ヲ還附ス。二、宇都宮郵便局へ明治四十四年中ノ市内輸入輸出商品ヲ調査回答ス。

縁起をいふは意志の薄弱。從來商家では縁起といふ事を非常にやかましくいふ、縁起とは何かといふと善い事又は悪い事が引續いて生ずる因であるといふ事である。

其處で買ふと思つて来た客も決定が出来なくて出て行つて了ふ。すると店の方では今朝来た客が縁起が悪かつたから又冷しの客が来たといつて自身は斯う云ふことはない。故に商人の性質の基礎は是非意志でなければならぬ。

輕便洋食 三笠軒 矢嘯のルホヤード下縣 番九三六話電町師曲市宮都宇 和洋酒類

て芳香佳味且つ
 廉價なり江湖の
 諸君奮て御試用
 あらん事を乞ふ



菊の友は原料を
 精撰し學理を應
 用し最も斬新な
 る醸造方法にし

營業種目
 藥品賣藥醫療器械
 理化學器械
 寫真器械附屬一式
 コンデンスミルク特約店

宇都宮市馬場町
木村作次郎
 電話一七番
 日光中鉢石町
木村支店
 電話百十一番

●海陸産肥料各種
 ●入山石炭各驛手販賣
 ●好間石炭各驛一手販賣
 ●無煙炭各種大販賣

宇都宮市石町
 針屋
 村上濱吉
 電話三三番

和紙卸商 宇都宮市千手町
 油屋紙店
 相場直三郎
 電話四〇番

諸建築木材供給受負
 諸木材廉價販賣
 戸障子
 諸建築工事請負業

宇都宮市日野町
半都賀屋木村店
 篠崎の安平
 電話一三八番

關澤商店陳列館

▲宇都宮市の中央二荒山神社の坂下ゆへ
 土産物御求まは至極御便利であり升
 ▲獨立の勸場にて市中無類第一層の廉
 價正札附に致してあり升
 ▲流行品は他店に魁くるは申す迄もな
 く花客様にて御承
 知の筈であり升
 ▲品が善く
 て直が安
 く有る品は
 ゆる品は
 取揃てあ
 りす



宇都宮市川向町
下野倉庫株式會社
 電話一四八番

大谷石材販賣
 宇都宮市川向町停車場前
 大谷石商會

●肥料麻苧
 ●藍眞繩

宇都宮市本郷町廿八番地
 商號久喜屋
福田恒吉
 電話三〇六番
 電略クキヤ又ハキ

●肥料麻苧
 ●藍眞繩

●肥料麻苧
 ●藍眞繩

貨物、保管、荷爲替取組
庫
 宇都宮市川向町
下野倉庫株式會社
 電話一四八番

委託販賣、貨物貸附金

公告

明治四十四年度本會議所經費收入支出決算左記ノ通り定期總會ノ承認ヲ經タリ依テ公告ス

宇都宮商業會議所

大正元年八月

收入ノ部

科	目	豫算金額	決算金額	比較増減	備考
第一科	第一款 賦課金	二,三二,〇〇〇	二,〇〇,〇〇〇	減 三二,〇〇〇	備考
	二、人頭割	四九,〇〇〇	四一,〇〇〇	減 八,〇〇〇	
第二科	第二款 雜收入	一,一九,〇〇〇	一,九〇,〇〇〇	減 一〇,〇〇〇	備考
	合計	二,五〇,〇〇〇	二,九〇,〇〇〇	増 四〇,〇〇〇	

支出ノ部

科	目	豫算金額	決算金額	比較増減	備考
第一科	第一款 選舉費	八五,〇〇〇	八五,〇〇〇	同	備考
	第二款 會議費	一,一〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	減 一〇,〇〇〇	
第二科	第三款 給與費	七四,〇〇〇	七四,〇〇〇	同	備考
	一、書記	三三,〇〇〇	三三,〇〇〇	同	
第三科	第四款 報酬	六〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	同	備考
	二、賞與	六〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	同	
第四科	第五款 雜給	五五,〇〇〇	五五,〇〇〇	同	備考
	一、旅費	一八〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	減 四〇,〇〇〇	
第五科	第六款 調査費	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	同	備考
	二、公告費	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	同	
第六科	第七款 通信費	九五,〇〇〇	八三,〇〇〇	減 一二,〇〇〇	備考
	三、消耗費	八〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	同	
第七科	第八款 備品費	五〇,〇〇〇	五五,〇〇〇	増 五,〇〇〇	備考
	第九款 家屋費	一五,五〇〇	二五,〇〇〇	増 九,五〇〇	

一、修繕費	五,〇〇〇	二,四〇〇	増 三,六〇〇
二、火災保險料	八〇,〇〇〇	七五,〇〇〇	減 五,〇〇〇
三、借地料	三三,〇〇〇	三五,〇〇〇	増 二,〇〇〇
四、庭園手入費	三〇,〇〇〇	三三,〇〇〇	増 三,〇〇〇
第五款 印刷費	三〇,〇〇〇	二六,〇〇〇	減 四,〇〇〇
第六款 雜費	一八〇,〇〇〇	一七四,〇〇〇	減 六,〇〇〇
第七款 聯合會費	三〇,〇〇〇	三九,〇〇〇	増 九,〇〇〇
第八款 交際費	三〇,〇〇〇	三三,〇〇〇	増 三,〇〇〇
第九款 諸雜費	一〇〇,〇〇〇	一一,〇〇〇	減 八九,〇〇〇
第十款 豫備費	一〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇	減 九五,〇〇〇
合計	二,四九,〇〇〇	二,三三,〇〇〇	減 一六,〇〇〇

收入決算額	二,九〇,〇〇〇	支出決算額	二,三三,〇〇〇	差引	五七,〇〇〇
-------	----------	-------	----------	----	--------

科	目	豫算金額	決算金額	比較増減	備考
第一科	第一款 積立金	二,三三,〇〇〇	三,五六,〇〇〇	増 一,二三,〇〇〇	備考
	一、前年度ヨリ繰越金	二,三三,〇〇〇	三,五六,〇〇〇	増 一,二三,〇〇〇	
第二科	第二款 本年度	五〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	減 四〇,〇〇〇	備考
	一、積立金	五〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	減 四〇,〇〇〇	
合計	計	二,八三,〇〇〇	三,六六,〇〇〇	増 八三,〇〇〇	

宇都宮商業會議所

明治四十五年度本會議所經費追加豫算客月九日臨時總會ノ決議ヲ經九月廿七日附ケテ以テ農商務大臣ノ認可ヲ得タリ依テ公告ス

大正元年八月

科	目	豫算	決算
第一科	第一款 收入	七六一,九五〇	七六一,九五〇
	第二款 支出	七六一,九五〇	七六一,九五〇

本會議所創立滿二十年ニ際シ店員職工ノ滿率以上勤績者ノ表彰ヲ併シ行フ